

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

- オ 精神医療・保健・福祉に係る多職種連携をはじめとする相談支援におけるチームアプローチへの参加
- カ 精神保健福祉士としての職業倫理と法的義務の意味の考察と遵守
- キ 施設・機関・事業者・団体等の職員の就業などに関する規定の遵守と組織の一員としての役割と責任への自覚
- ク 施設・機関・事業者・団体等の経営やサービスの管理運営の観察
- ケ 当該実習先が地域社会で果たす役割の考察と具体的な地域社会への働きかけとしてのアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発場面の観察
- コ 実習先施設・機関や所属地域における精神保健福祉向上のための課題発見と政策提言に関する考察
- サ 実習体験及び学習成果の考察と記述、プレゼンテーション 実習総括と精神保健福祉士としての学習課題の明確化、及び研鑽計画の立案

必要時間（単位：時間）： 90

学習課題・学習時間

実習記録（実習日誌）を毎日作成し、翌朝実習指導者に提出する。

必要時間（単位：時間）： 12

達成度評価

総合評価割合（%）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	0	0	100	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	20	20
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	10	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	20	20
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
その他	①	✓	個別にフィードバックを行う。
	②	✓	
	③	✓	
	④	✓	
	⑤	✓	
	⑥		

備考

他担当教員	なし
教員の実務経験	社会福祉士資格を有し、22年の実務経験がある。
実践的授業の内容	教員自身の対人援助職の実務経験にもとづき、対人援助職として必要な価値・知識・技術を教授する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉士資格取得希望者は必ず履修すること。 ・止むを得ず遅刻・欠席する場合は、しかるべき手順を踏んで対応すること。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によってシラバスの変更が行われることがある。 ・大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。 ・学外実習を実施するが、実習先及び教員が示す方法を遵守すること。 ・上記、指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。